



# 第 90 回 日本学生氷上競技選手権大会

## プレスリリース

日程 2017年12月25日(月)～12月29日(金) アイスホッケー競技  
2018年1月4日(木)～1月8日(月) スピード,フィギュア,ショートトラック競技  
会場 テクノルアイスパーク八戸 (アイスホッケー競技開会式 12月24日14時)  
田名部記念アイスアリーナ (アイスホッケー)  
ふくちアイスアリーナ (アイスホッケー)  
軽井沢風越公園アイスアリーナ (スピード,フィギュア,ショートトラック競技開会式  
1月4日8時)  
軽井沢風越公園屋外スケート場

# 目次

1. 第90回日本学生氷上競技選手権大会の開催に寄せて
2. 歴代優勝校一覧
3. 大会要項
4. スピード部門
  - ① 競技要項
  - ② 競技日程
5. フィギュア部門
  - ① 競技要項
  - ② 競技日程
  - ③ 大学別出場枠一覧
6. ホッケー部門
  - ① 男子ファーストディビジョン
  - ② 男子セカンドディビジョン
  - ③ 女子オープン
  - ④ アイスホッケー競技全体競技日程
7. 瑠子女王殿下御観戦について
8. 取材（大会）について
9. 各種問い合わせ

## 1. 第90回日本学生氷上競技選手権大会の開催によせて

一般社団法人日本学生氷上競技連盟  
会長 福田 弥夫

第90回日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）が、青森県八戸市と長野県軽井沢町において開催されます。第一回大会が大正14年に開催されたこの大会は、日本で最も古い歴史と伝統を誇るスケートの競技会です。

今回の大会は、第90回の記念大会ということで、内容もこれまでとは変更することになりました。主な変更点は次の通りです。①これまでは、スピードスケート、フィギュア競技とアイスホッケー競技を同一都市において同時期に開催してきたが、第90回大会は開催都市と開催時期を分離して行うこととなった。②これまではインカレとは別の時期に開催してきたショートトラック競技を、スピード・フィギュアと同じ時期に同一都市において同時期に開催する。それに伴い、これまでは総合優勝の得点対象ではなかったショートトラック競技の得点を、スピードの得点に加算する。③アイスホッケー競技男子は、これまでは30チームのトーナメントであったが、ファーストディビジョン32チームとセカンドディビジョン8チームに分け、セカンドディビジョンは各地区の予選会においてファーストディビジョンの出場資格を得られなかったチームの中で、最上位となったチームを対象として開催する。④オープン競技として、女子のアイスホッケー競技を開催する。その結果、アイスホッケー競技は合計で43チームが参加することとなり、国民体育大会アイスホッケー競技を上回る日本で最大規模のアイスホッケー競技会となった。

開催時期と開催都市の分離は、大学の学事歴や競技施設の関係で、これまでのように同一都市において同時期に開催することが困難となったためです。ショートトラックにつきましては、アイスホッケー競技を分離した結果、同一都市において同時期に開催することが可能となったためであり、懸案であったショートトラック競技のスピード部門への得点加算もスピード部門の監督会の検討を経て実現することとなりました。アイスホッケー競技の拡充は、スピード・フィギュアとの競技日程の分離により可能となり、念願であった女子の試合も実現いたしました。なお、女子のアイスホッケーにつきましては、当分の間は女子の総合優勝への得点加算は行わないこととしております。

競技日程はスピード、フィギュアそしてショートトラックが長野県軽井沢町において(4回目)平成30年1月4日から1月7日の5日間にわたり、アイスホッケーは青森県八戸市(8回目)において平成29年12月25日から29日の5日間にわたって開催されます。

全国各地から集まった選手たちの熱戦が銀盤上で繰り広げられることと思います。平昌そして北京とアジア地域で冬季五輪が開催されますが、インカレで育った選手たちが活躍することを期待し、そして母校の榮譽をかけた選手たちの健闘を祈りつつ、挨拶とさせていただきます。

## 2. 歴代優勝校一覧

### 歴代成績

※ 昭和18年は全国学生氷上競技会の名称で長野県蓼の海で開催され、優勝校スピード日大、フィギュア慶大、アイスホッケー明大、総合優勝明大であった。また、昭和19、20、21年は世界大戦のため中止となった。

回数	年度	開催地 (道県名)	男子 総合優勝	女子 総合優勝	スピード		フィギュア		アイスホッケー 優勝校 2位校 3位校
					男子	女子	男子	女子	
					1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	
1	大正14	六助池 (長野)	---		暖気中 止		東 京 早 稲 松 田 本 高		早 稲 田 松 本 高
2	15	松原 ( " )	---		早 稲 田 慶 應 治		北 海 道 東 京 治		東 京 道 北 海 明 慶 應 治
3	昭和2	大正天皇御大葬のため中止							
4	3	松原湖 (長野)	---		早 稲 田 明 治 医		慶 應 治 北 海 道		満 州 医 科 慶 應 治 早 稲 田 北 海 道
5	4	"	慶 應		早 稲 田 明 治 慶 應		慶 應 治 東 京		慶 應 治 東 京 高 東 北 松 本
6	5	"	"		早 稲 田 明 治 教		慶 應 治 北 海 道		慶 應 治 北 海 道 早 稲 田 松 本 高
7	6	高松池 (岩手)	早稲田		早 稲 田 明 治 慶 應		慶 應 治 北 海 道		早 稲 田 慶 應 治 北 海 道 京 城 帝
8	7	暖気のため中止							
9	8	高松池 (岩手)	慶 應		明 治 慶 應 早 稲 田		慶 應 治 北 海 道		慶 應 治 北 海 道 京 城 帝
10	9	日光市 (栃木)	"		明 治 慶 應 早 稲 田		慶 應 治 関 西 学 院		慶 應 治 北 海 道
11	10	"	"		明 治 慶 應 早 稲 田		慶 應 治 関 西 学 院		慶 應 治 京 城 帝 同 志 社
12	11	"	早稲田		明 治 慶 應 早 稲 田		慶 應 治 早 稲 田		早 稲 田 満 州 医 科 東 京 明 治
13	12	"	明 治		明 治 慶 應 早 稲 田		慶 應 治 早 稲 田		立 早 稲 田 早 明 治
14	13	八戸市 (青森)	早稲田		明 治 慶 應 早 稲 田		慶 應 治 関 西 学 院		早 稲 田 立 早 稲 田 満 州 医 科 明 治
15	14	蓼の海 (長野)	明 治		明 治 慶 應 早 稲 田		明 治 慶 應 早 稲 田		立 早 稲 田 明 治 慶 應
16	15	日光市 (栃木)	"		明 治 慶 應 早 稲 田		明 治 慶 應 早 稲 田		立 早 稲 田 明 治 慶 應
17	16	八戸市他 (青森)	"		早 稲 田 明 治 慶 應		早 稲 田 明 治 慶 應		明 治 慶 應 立 早 稲 田 慶 應
18	17	日光市他 (栃木)	"		明 治 慶 應 早 稲 田		慶 應 治 早 稲 田 都		明 治 慶 應 法 政 大 学 早 稲 田
19	22	松原湖 (長野)	立 教		明 治 本 日 慶 應		早 稲 田 京 東 京		立 中 慶 應 教 央 慶 應

回数	年度	開催地 (道県名)	男子 総合優勝	女子 総合優勝	スピード		フィギュア		アイスホッケー		
					男子	女子	男子	女子	優勝校 2位校 3位校		
					1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校			
20	23	松原湖 (長野)	早稲田		日 本 明 治 早 稲		早 稲 田 関 西 学 立 院 教		早 立 稲 田 法 法 教 政		
21	24	高松池 (岩手)	"		日 本 明 治 慶 應		関 西 学 早 稲 田 法 院 政		早 立 稲 田 明 法 教 治		
22	25	蓼の海 (長野)	"		日 本 明 治 早 稲		早 稲 田 関 西 学 明 院 治		早 立 稲 田 法 法 教 政		
23	26	苫小牧市 (北海道)	明 治		明 治 早 稲 田		明 治 早 稲 田 関 西 学 院		早 立 稲 田 明 法 教 治		
24	27	蓼科湖他 (長野)	"		明 治 日 慶 應		明 治 早 稲 田 関 西 学 院		早 立 稲 田 明 法 教 治		
25	28	"	"		明 治 日 慶 應		明 治 早 稲 田 慶 應		明 中 法 治 法 法 法 政		
26	29	美鈴湖他 (長野)	"		明 治 日 慶 應		明 治 早 稲 田 慶 應	早 稲 田 神 戸 女 学 慶 院 應	早 立 稲 田 法 法 法 政 関 西 学 院		
27	30	日光市 (栃木)	"		明 治 立 日 本		明 治 関 西 学 同 志 社	神 戸 女 学 早 稲 田 慶 院 應	立 法 明 教 法 法 法 政		
28	31	蓼の海 (長野)	---		日 本 明 治 立 教		明 治 立 慶 應	早 稲 田 慶 神 戸 女 神 戸 女 学 院	暖 気 中 止		
29	32	"	明 治		日 本 明 治 専 修		明 治 慶 関 西 関 西 学 院	慶 神 戸 女 神 戸 女 学 院 中 央	明 立 法 治 法 法 法 政		
30	33	八戸市 (青森)	"		日 本 明 治 専 修		明 治 立 慶 應	早 立 稲 田 立 同 志 社	明 立 法 治 法 法 法 政		
31	34	蓼の海他 (長野)	"		明 治 専 修 本		明 治 同 慶 志 社	慶 立 神 戸 女 立 神 戸 女 学 院	立 明 慶 教 法 法 法 政		
32	35	帯広市 (北海道)	"		日 本 明 治 立 教		同 志 社 明 立 治 教	立 慶 同 志 社	立 明 中 教 法 法 法 政		
33	36	八戸市他 (青森)	"		明 治 立 本 教		立 明 同 志 社	慶 立 同 志 社	明 立 中 教 法 法 法 政		
34	37	軽井沢 (長野)	"		立 明 日 教 明 治 本		明 同 立 志 社	関 西 学 院 慶 同 志 社	明 立 中 教 法 法 法 政		
35	38	蓼科湖 (長野)	"		日 本 明 立 教		明 同 立 志 社	関 西 学 院 日 慶 本 應	早 中 立 稲 田 立 法 法 法 政		
36	39	暖気のため中止									
37	40	富士五湖 他 (山梨)	明 治		明 治 日 立 本 教		明 治 日 立 本 教	慶 同 志 慶 社 関 西 学 院	明 日 早 稲 田 立 法 法 法 政		
38	41	帯広市 (北海道)	"		日 本 立 明 教 治		早 明 日 治 明 日 本	日 関 西 学 立 立 本 院 教	明 早 日 治 立 法 法 法 政		
39	42	蓼科湖 (長野)	日 本		日 本 明 専 修		早 日 明 治 日 明 本	玉 川 学 園 同 志 社 女 子	早 法 東 稲 田 立 法 法 法 政		



回数	年度	開催地 (道県名)	男子 総合優勝	女子 総合優勝	スピード		フィギュア		アイスホッケー		
					男子	女子	男子	女子	優 2 3	勝 位	校 校
					1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校			
40	43	苫小牧市 (北海道)	明 治		日 本 明 立 治 教	東 日 本 東 京 女 子 体	明 日 治 早 稲 田	日 本 専 修 應	明 東 日		治 洋 本 本
41	44	軽井沢 (長野)	日 本		日 本 専 立 修 教	東 日 本 東 京 女 子 体	早 稲 田 明 日 治 本	専 山 学 青 同 志 社 女 子	明 日 法		治 本 政 政
42	45	蓼科湖 (長野)	明 治		日 本 専 明 修 治	東 日 本 東 京 女 子 体	明 日 治 専 日 修 本	関 西 学 専 山 学 院	明 法 日		治 政 本 本
43	46	浅間 (長野)	"		日 本 専 明 修 治	東 日 本 東 京 女 子 体	明 日 治 日 専 修 本	富 士 短 青 山 学 院	明 法 慶		治 政 應 應
44	47	富士スバル (山梨)	"		日 本 明 専 修 治	東 日 本 東 京 女 子 体	明 日 治 日 専 修 本	富 士 短 青 山 学 院	法 明 慶		政 治 應 應
45	48	日光市 (栃木)	"		早 稲 田 明 満 州 医 科	東 日 本 東 京 女 子 体	日 明 治 関 西 学 院	日 富 本 富 士 短 本 期	法 明 大	東 文	政 治 化 化
46	49	"	"		日 本 専 明 修 治	日 本 体 専 中 京 短 修 期	明 日 治 日 専 修 本	日 明 本 富 士 短 治 期	法 大 明	東 文	政 治 化 化
47	50	"	"		明 法 治 日 法 政 本	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	明 日 治 日 富 士 短 本 期	富 士 短 明 修 治 期	法 明 大	東 文	政 治 化 化
48	51	"	"		日 明 本 日 明 東 治 洋	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	明 法 治 日 富 士 短 政 期	富 士 短 明 修 治 期	法 明 大	東 文	政 治 化 化
49	52	"	法 政		日 明 本 日 明 東 治 洋	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	法 明 治 日 富 士 短 政 本	富 士 短 明 修 治 期	法 明 東		政 治 洋 洋
50	53	"	明 治		明 日 治 日 明 東 本 洋	日 本 体 専 中 京 短 修 期	専 日 治 日 明 修 本 治	富 士 短 明 修 治 期	法 明 東		政 治 洋 洋
51	54	"	"		明 日 治 日 明 法 本 育 政	日 本 体 日 大 東 文 育 期 化	明 日 治 日 明 修 治 政	日 上 本 日 明 智 修	法 東 明		政 治 洋 治
52	55	"	"		明 日 治 日 明 日 本 育 本	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	法 日 治 日 明 政 修 本	日 法 本 日 同 志 社	法 東 明		政 治 洋 治
53	56	"	日 本 法 政		日 本 体 日 明 日 本 育 本	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	日 法 治 日 明 政 修 本	法 同 志 日 同 志 社	法 明 東		政 治 洋 洋
54	56	"	日 本	専 修	日 明 本 日 明 治 修 本 治	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	日 法 治 日 明 政 修 本	法 同 志 日 同 志 社	法 明 東		政 治 洋 洋
55	57	"	法 政	"	日 明 本 日 明 日 本 育 本	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	明 日 治 日 明 政 修 本	日 富 志 日 同 志 社	法 明 東		政 治 洋 洋
56	58	"	明 治	"	日 明 本 日 明 法 本 育 政	日 本 体 専 中 京 短 修 期	明 日 治 日 明 修 本 治	日 同 志 日 同 志 社	明 法 東		治 政 洋 洋
57	59	"	"	"	日 明 本 日 明 治 修 本 治	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	明 日 治 日 明 修 本 治	日 同 志 日 同 志 社	明 東 法		治 政 洋 洋
58	60	"	"	"	日 明 本 日 明 法 本 育 政	日 本 体 中 大 東 文 育 期 化	明 日 治 日 明 修 本 治	日 同 志 日 同 志 社	明 東 早	稲	治 政 洋 洋

回数	年度	開催地 (道県名)	男子 総合優勝	女子 総合優勝	スピード		フィギュア		アイスホッケー		
					男子	女子	男子	女子	優 2 3	勝 位	校 校
					1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校			
59	61	日光市 (栃木)	明 治	日本体育 明 治	専 修 法 政 日 本	日本体育 中京短期 大東文化	明 治 日 本 専 本 日 修	明 治 専 帝 日 塚 日 山	東 明 明 法	洋 治 治 政	
60	62	"	"	"	専 修 日 本 日 本	日本体育 中京短期 東 洋 筑 波 早 稲 田	明 治 日 本 日 本 日 本	明 治 専 帝 日 塚 日 山	明 東 明 法	治 洋 治 政	
61	63	"	"	専 修	専 修 日 本 日 本	中京短期 日本体育 筑 波	明 治 日 本 日 本	明 治 専 帝 日 塚 日 山	明 法 明 法	治 政 治 政	
62	平成 元	苫小牧市 (北海道)	日 本	"	日 本 日 本 日 本	中京短期 日本体育 専 修	明 治 日 本 日 本	明 治 日 本 日 本	法 明 明 東	政 治 洋 治	
63	2	八戸市 (青森)	"	"	日 本 日 本 日 本	日本体育 山梨学院 中京短期	日 明 日 明 日 明	日 明 日 明 日 明	早 明 早 明	稲 田 田 治	
64	3	帯広市 (北海道)	明 治	日 本 日本体育	日 本 日 本 日 本	日本体育 山梨学院 大東文化	明 治 日 本 日 本	日 東 日 東 日 東	明 早 明 早	稲 田 洋 治	
65	4	日光市 (栃木)	日 本	"	日 本 日 本 日 本	日本体育 山梨学院 大東文化	日 明 日 明 日 明	日 同 日 同 日 同	明 東 明 東	稲 田 洋 治	
66	5	軽井沢 (長野)	明 治	明 治 日本体育	日 本 日 本 日 本	日本体育 山梨学院 大東文化	明 早 明 早 明 早	明 治 明 治 明 治	明 東 明 東	稲 田 洋 治	
67	6	苫小牧市 (北海道)	日 本	日本体育	日 本 日 本 日 本	日本体育 大東文化 山梨学院	明 治 日 本 日 本	同 志 同 志 同 志	明 東 明 東	洋 治 洋 治	
68	7	釧路市 (北海道)	明 治	大東文化 愛知学院	日 本 日 本 日 本	大東文化 山梨学院 日本体育	明 治 日 本 日 本	愛 知 愛 知 愛 知	東 明 東 明	洋 治 洋 治	
69	8	八戸市 三沢市 福地村 (青森)	"	日本体育 同 志 社	日 本 日 本 日 本	日本体育 山梨学院 東京女子体	明 治 日 本 日 本	同 志 同 志 同 志	東 明 東 明	洋 治 洋 治	
70	9	苫小牧市 (北海道)	"	東京女子体	専 修 日 本 日 本	日本体育 山梨学院 東京女子体	日 明 日 明 日 明	愛 知 愛 知 愛 知	東 法 東 法	洋 治 洋 治	
71	10	日光市 (栃木)	日 本	愛知学院 日本体育	専 修 日 本 日 本	日本体育 山梨学院 東京女子体	日 明 日 明 日 明	愛 知 愛 知 愛 知	東 早 東 早	稲 田 洋 治	
72	11	帯広市他 (北海道)	明 治	日本体育 東京女子体 東 洋	明 治 日 本 日 本	日本体育 大東文化 山梨学院	日 明 日 明 日 明	東 洋 東 洋	東 法 東 法	稲 田 洋 治	
73	12	釧路市 (北海道)	日 本	日本体育 東北福祉	明 治 日 本 日 本	日本体育 山梨学院 大東文化	日 法 日 法 日 法	東 北 東 北	東 法 東 法	洋 治 洋 治	
74	13	前橋市 高崎市 伊香保町 (群馬)	明 治	山梨学院 日本体育 東北福祉	明 治 日 本 日 本	山梨学院 日本体育 信 州	日 法 日 法 日 法	東 北 東 北	明 法 明 法	稲 田 洋 治	
75	14	苫小牧市 (北海道)	"	山梨学院 東 洋	日 本 日 本 日 本	山梨学院 日本体育 日本体育	日 明 日 明 日 明	東 洋 東 洋	明 法 明 法	稲 田 洋 治	
76	15	日光市 (栃木)	"	信 州 東 洋	明 治 日 本 日 本	信 州 山梨学院 日本体育	日 慶 日 慶 日 慶	東 北 東 北	明 法 明 法	洋 治 洋 治	



回数	年度	開催地 (道県名)	男子 総合優勝	女子 総合優勝	スピード		フィギュア		アイスホッケー	
					男子	女子	男子	女子	優勝校 2位校 3位校	
					1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校	1位校 2位校 3位校		
77	16	釧路市 (北海道)	明治	信州 早稲田	明治本 日体育	信州 山梨学院 日本体育	日本治 本立命 館	早稲田 東北福 祉本	明東 法	治洋 政
78	17	帯広市 清水町 (北海道)	"	信州 早稲田	明治本 日体育	信州 日本体育 学院	明治政 京都	日本志 同早稲 田	明法 東	治政 洋
79	18	日光市 宇都宮市 (栃木)	"	信州 日	明治本 早稲田	信州 山梨学院 日本体育	明治治 東洋 立命館	日本志 同本社 西	東明 中	洋治 央
80	19	苫小牧市 (北海道)	"	山梨学院 西 早稲田	早稲田 本 修	山梨学院 州 本	明東治 北福 祉政	関明西 日本体 育	東明 中	洋治 央
81	20	八戸市 三沢市 南部町 (青森)	"	早稲田	専明 日	日本体 育州 山梨学院	関明西 東北福 祉	関早稲 田治	東中 早	洋央 田
82	21	日光市 宇都宮市 (栃木)	"	明治 山梨学院	日專 明	山梨学院 日本体 育大東 文化	関東北 西福 祉治	明日治 関本 西	早明 東	田治 洋
83	22	釧路市 (北海道)	"	明治 山梨学院	日專 法	山梨学院 日本体 育大東 文化	中関京 明西 治	明同志 治社 西	明中 東	治央 洋
84	23	苫小牧市 (北海道)	"	山梨学院 関 西	專日 東	山梨学院 日本体 育高崎 健康福 祉	中明京 慶治 應	関明中 西治 京	中早 東	央田 洋
85	24	日光市 宇都宮市 (栃木)	法政	日本体 育関 西 山梨学院	法早 專	日本体 育山梨 学院高 崎健康 福祉	法明日 政治 本	関明中 西治 京	中関 早	央西 田
86	25	帯広市 (北海道)	明治	日本体 育関 西	專日 山梨学 院	日本体 育高崎 健康福 祉山梨 学院	明中治 関京 西	関明東 西治 洋	早明 中	田治 央
87	26	釧路市 (北海道)	法政	日本体 育中 京	法專 信	日本体 育山梨 学院高 崎健康 福祉	中日関 京本 西	中関明 京西 治	明東 中	治洋 央
88	27	日光市 (栃木)	"	高崎健康 福祉関 西	法信 專	高崎健康 福祉日 本体育 州	法関政 明西 治	関中明 京西 治	中日 明	央本 体 育 治
89	28	苫小牧市 (北海道)	明治	高崎健康 福祉中 京	專日 法	高崎健康 福祉信 州 日本体 育	関明西 治京	中関京 早稲 田	明中 東	治央 洋
90	29	八戸市 (青森県)							アイスホッケー	
									男子	女子

(注) 当連盟 HP[http://jacsif.jp/?page\\_id=42](http://jacsif.jp/?page_id=42) よりダウンロードできますので、ご活用ください。



### 3. 大会要項

#### 第 90 回日本学生氷上競技選手権大会要項

平成 29 年 12 月 13 日変更

##### 1. 主催

一般社団法人日本学生氷上競技連盟(以下、「本連盟」という。)

##### 2. 共催

軽井沢町 八戸市

##### 3. 特別後援

太陽生命保険株式会社

##### 4. 後援

公益財団法人日本スケート連盟 公益財団法人日本アイスホッケー連盟

長野県 長野県教育委員会 長野県体育協会 軽井沢町教育委員会 軽井沢町体育協会 軽井沢町観光協会

青森県 青森県教育委員会 青森県体育協会 八戸市 八戸市教育委員会 南部町 南部町教育委員会

八戸市体育協会 八戸商工会議所 公益社団法人八戸観光コンベンション協会

##### 5. 主管

長野県スケート連盟 青森県アイスホッケー連盟

##### 6. 期日

スピードスケート競技、ショートトラックスピードスケート競技、フィギュアスケート競技

平成 30 年 1 月 4 日(木)～平成 30 年 1 月 8 日(月)

アイスホッケー競技

平成 29 年 12 月 25 日(月)～平成 29 年 12 月 29 日(金)

※競技種別ごとの詳細日程は、それぞれの要項参照

##### 7. 会場

軽井沢風越公園屋外スケート場 軽井沢風越公園アイスアリーナ

テクノアイスパーク八戸 田名部記念アイスアリーナ ふくちアイスアリーナ

##### 8. 競技種別

男子:スピードスケート競技、ショートトラックスピードスケート競技、フィギュアスケート競技 アイスホッケー競技

女子:スピードスケート競技、ショートトラックスピードスケート競技、フィギュアスケート競技 アイスホッケー競技(オープン参加競技)

##### 9. 競技方法

(1)男子、女子とも、競技種別ごとの得点合計による学校対抗とする。ただし、学校対抗得点計算の上では、ショートトラックスピードスケート競技については、独立の競技種別としては扱わず、別に定める方法に従って、スピードスケート競技と合わせて得点を計算する。

(2)フィギュアスケート競技は男子 A クラス、女子 7・8級クラスのみを、男子アイスホッケー競技はファーストディビジョンのみを学校対抗得点の対象とする。

(3)女子アイスホッケー競技はオープン参加競技とし、学校対抗得点の対象とはしない。

(4)競技種別ごとに次の得点を与える。1位8点、2位7点、・・・8位1点とする。ただし、アイスホッケー競技の5位から8位までは2.5点とする。なお、ショートトラックスピードスケート・スピードスケート競技について、同点校があった場合の順位については別に定める。

## 10. 表彰

男子、女子とも、優勝校に優勝賜杯(男子は寛仁親王牌、女子は寛仁親王妃牌)及び賞状を、2位から4位までの大学に賞状を授与する。

## 11. 参加資格

- (1)本年度、本連盟登録者であること
- (2)各競技種別の参加資格は、それぞれの要項参照

## 12. 参加申込

- (1)本連盟ホームページより申し込むこと
- (2)参加申込期間  
平成 29 年 11 月 16 日(木)～平成 29 年 12 月 5 日(火)【期限厳守】
- (3)大会参加料

ア) スピードスケート競技、フィギュアスケート競技

参加選手一人につき 10,000 円

ショートトラックスピードスケート競技

学校対抗競技 参加選手一人につき 10,000 円

オープン競技及びバジテスト競技 参加選手一人につき 8,000 円

アイスホッケー競技

ファーストディビジョン 1チームにつき 200,000 円

ただし、1 回戦敗退のチームには 40,000 円を返金する。

セカンドディビジョン 1チームにつき 150,000 円

ただし、一回戦敗退のチームには 30,000 円を返金する

女子 無料

イ) 参加料は、個人名ではなく大学名で銀行振込により支払うものとする(詳細は本連盟ホームページ参照)

ウ) 前記ア)のアイスホッケー競技にかかる返金は、大会終了後 10 日以内に対象校の指定振込口座に振込にて行う。

### (4)大会事務局(大会関係連絡先)

- ・スピード部門 speed@jacsif.jp
- ・フィギュア部門 figure@jacsif.jp
- ・ホッケー部門 hockey@jacsif.jp

## 13. 宿泊

第 90 回日本学生氷上競技選手権大会宿泊要項による。

## 14. 閉会式・開会式

- ・アイスホッケー競技開会式  
平成 29 年 12 月 24 日(水)14:00～  
会場:テクノルアイスパーク八戸
- ・スピード、フィギュア、ショートトラック競技開会式  
平成 30 年 1 月 4 日(水)8:00～

会場：軽井沢風越公園総合体育館  
総合閉会式  
平成 30 年 1 月 8 日(月)19:45～  
会場：軽井沢風越公園アイスアリーナ

\*アイスホッケー競技開会式には、アイスホッケー競技参加大学は、原則として出席すること(ただし、寛仁親王牌返還大学は必ず出席すること)。スピード、フィギュア、ショートトラック競技開会式及び総合閉会式には、スピード、フィギュア、ショートトラック競技参加大学は、原則として出席すること(なお、開会式には寛仁親王妃牌返還大学は必ず出席すること)。

表彰の対象となる大学が閉会式を欠席する場合には、必ず事前に大会事務局に申し出ること。

#### 15. その他

(1)大会中(6の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。

(2)参加者はスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。

(3)\*本大会で当連盟が取得した個人情報等は、大会運営・広報のみに利用する。

\*大会時に撮影された写真が、本連盟が作成するパンフレット、広報物に使用される場合がある。また大会時に撮影された動画が、当連盟が作成するサイトに掲載、もしくはインターネット等で配信・中継される場合がある。上記を拒否する場合には、必ず当連盟に事前に届け出なければならない。

\*大会時に撮影された写真及び動画が、当連盟が許可した団体が作成する印刷物、サイト等に掲載される場合がある。上記を拒否する場合には、必ず当連盟に事前に届け出なければならない。

\*要項は変更となる可能性があるため、当連盟から発信される情報に注意すること。

事務連絡先 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-5 ヴィエントビル 10F

(一社)日本学生氷上競技連盟

TEL/FAX 03-6811-0850 E-mail: info@jacsif.jp

ご連絡はできる限りメールにてお願いします。電話は留守番電話になっている場合があり、対応が遅れてしまう可能性があります。なお、緊急の場合には、080-7934-1876までご連絡ください。



## 4. スピード部門

### ①競技要項

#### (1) スピード部門競技

#### スピード部門競技要項

11月17日訂正

#### 1. 競技距離

女子	個人競技	500m	1000m	1500m	3000m	
	団体競技	2000mリレー チームパシュートレース(6周)				
男子	個人競技	500m	1000m	1500m	5000m	10000m
	団体競技	2000mリレー チームパシュートレース(8周)				

#### 2. 日程

平成30年1月5日(金)

公式練習 9:00-12:00、14:00-16:00

監督主将会議及び抽選 17:00

平成30年1月6日(土)

公式練習 8:30-9:30 女子500m終了後30分間(男子10000m出場者のみ)

競技開始 10:00 ①男子500m ②女子500m ③男子1500m ④女子1500m ⑤

公式練習 男子10000m

女子500m終了後30分

平成30年1月7日(日)

公式練習 8:30-9:30

競技開始 10:00 ①女子3000m ②男子5000m ③女子1000m ④男子1000m

公式練習 競技終了後30分後に開始(リレー種目及びチームパシュート種目、個人練習で組分を行う。組分けは後日発表することとする。)

平成30年1月8日(月)

公式練習 8:30-9:30

競技開始 10:00 ①女子2000mリレー ②男子2000mリレー

③女子チームパシュートレース ④男子チームパシュートレー

ス

#### 3. 競技方法

(1) 国際スケート連盟スピードスケート競技規則(以下、「ISU規則」という。)、(公財)日本スケート連盟

スピードスケート競技規則並びに本要項による距離別競技とする。

(2) 女子、男子とも各距離の得点合計による学校対抗とする。この場合、合計得点と同じときは上位者の

多い学校を上位とする。更に同点の場合は同順位とする。

(3) 各距離の得点は次のとおりとし同順位は得点を案分する。この場合、小数第2位以下を切り捨てるも

のとする。

個人競技

女子 1位17点、2位15点、3位13点、4位11点、5位9点、6位7点、7位6点、8位5点、

9位4点、10位3点、11位2点、12位1点

男子 1位20点、2位18点、3位16点、4位14点、5位12点、6位10点、7位9点、8位8点、9位7点、

10位6点、11位5点、12位4点、13位3点、14位2点、15位1点

#### 団体競技

女子 1位14点、2位11点、3位8点、4位6点、5位4点、6位2点

男子 1位18点、2位15点、3位12点、4位10点、5位8点、6位6点、7位4点、8位2点

(4)トラックは標準400mダブルトラックCタイプとする。ただし、チームパシュートレースにあつては

標準シングルトラックCタイプとする。

(5)1500m以上の距離にあつてはカルテットスタート競技方法を採用することができる。この場合、採用

の有無は監督主将会議で決定する。

#### (6) 組合せ手順及びスタート順

##### ア) 個人競技

a) 各距離の組合せ及びスタート順は、当該距離の最新の本年度タイム（(公財)日本スケート連盟が公表したカルガリー又はソルトレークシティで樹立したものを除く）による。この場合、ISU規則239条2項を準用する。

b) ランキングの編成

① 各距離とも、当該距離の本年度タイムに従ってエントリーされた者を次のように順位づけ

る。この場合、本年度タイムが同じ者は抽選により上位者を決定する。

② 本年度タイムのない者は、抽選により順位づけ①に続く。

c) 組合せは、前記b)の上位から2名ずつ組み合わせるものとし、スタートレーンは上位者をイ

ンレーンとする。ただし、同一校が同一組とならないよう組を調整する。

d) 組のスタート順は前記c)の下位からとする。

e) 抽選後の棄権に伴う組の調整は、当該競技開始1時間前までの場合はISU規則第245条4項

を適用して残っている者のランキングに基づいて再編成する。それ以後の変更は同第245条3項を

適用する。

f) 最終順位はISU規則第265条、第268条及び第275条を適用する。

##### イ) 団体競技

a) 第3日目競技終了時点の学校対抗得点合計に基づき上位から組み合わせる。この場合、学校得

点合計が同じときは上位者の多い大学を上位とする。さらに同点の場合は抽選とする。

b) スタート順は得点順とは逆に下位の組からスタートし、最上位の組が最後に滑走する。

c) スタートレーンは、チームパシュートレースにあつては学校対抗得点合計の上位校をフィニッシュサイドとし、リレー競技にあつては抽選とする。

d) 抽選後の棄権に伴う組の調整は、当該競技開始1時間前までの場合はISU規則第245条4項

を適用して残っている者のランキングに基づいて再編成する。それ以後の変更は同第 245 条 3 項

を適用する。

f) 最終順位は I S U 規則第 265 条、268 条及び第 275 条を適用する。

#### 4. 表彰

(1) 女子、男子とも学校対抗 1 位の大学に優勝杯及び賞状を、2 位及び 3 位の大学に賞状を授与する。

(2) 各距離とも、個人競技にあつては 1 位から 8 位までの者に、団体競技にあつては 1 位から 3 位までの

大学に賞状を授与する。

#### 5. 参加資格

本年度本連盟登録者であつて、(公財)日本スケート連盟バッジテスト C 級 (スピード、シヨートトラックを

問わない) 以上を有する者

#### 6. 出場制限

(1) 各距離の出場人員を次のとおり制限する。

個人競技 1 校 1 距離 3 名以内 補欠 1 名以内

・ 1 名 2 距離以内とし、補欠を含め 2 距離に参加申込した者は他の距離の補欠となる

ことはできない。ただし、リレー競技及びチームパシュートレースは除く。

・ 男子 10000m にあつては、本年度又は前年度に次のタイム (カルガリー又はソルト

レークシティで樹立したものを除く) 以上を有する者

男子 5000m 7 分 45 秒 又は 男子 10000m 16 分 14 秒

団体競技

リレー競技 1 チーム 6 名以内の編成とし出場は 4 名とする。

チームパシュートレース 1 チーム 5 名以内の編成とし出場は 3 名とする。

(2) 外国籍学生の出場は 1 校につき 1 名以内とする。

7. 距離別エントリー (提出可能な者は平成 29 年 12 月 5 日 (火) までに大会参加申し込みを完了している者に限る。)

(1) 提出期限 平成 30 年 1 月 4 日 (木) 正午

(2) 提出先 (一社) 日本学生氷上競技連盟

メールアドレス : speed@jacsif.jp (別紙フォーム使用のこと)

#### 8. その他

(1) 本競技会中の事故等については応急処置のみとし、責任は負わない。

(2) 参加者はスポーツ障害保険に必ず加入していること。



## (2) ショートトラックスピードスケート競技

### ショートトラックスピードスケート競技要項

12月7日訂正

#### 1. 競技距離

学校対抗競技

女子：500m 1000m 1500m 3000mリレー

男子：500m 1000m 1500m 3000m 5000mリレー（予選・準決勝は3000mリレー

とする。）

オープン競技

女子：500m 1000m

男子：500m 1000m

バッジテスト競技

女子：500m 1000m

男子：500m 1000m

#### 2. 日程

平成30年1月3日(水)

公開練習 13:00-13:45, 14:00-14:45, 15:00-15:45, 16:00-16:45

監督主将会議 17:00

平成30年1月4日(木)

公式練習 10:00-10:15, 10:15-10:30, 10:45-11:00, 11:00-11:15, 競技中に10分間

競技開始 の公式練習

12:30 学校対抗競技 1500m 500m 男子3000mリレー（予選）男子1000m予選

オープン競技 500m 1000m

バッジテスト競技 500m 1000m

平成30年1月5日(金)

公式練習 8:00-8:15, 8:15-8:30, 8:45-9:00, 競技中に10分間の公式練習

競技開始 9:30 学校対抗競技 1000m 3000m 女子3000mリレー 男子5000mリレー

#### 3. 競技方法

(1) 国際スケート連盟ショートトラックスピードスケート競技規則（以下、「ISU規則」という。）、(公財)日本スケート連盟ショートトラックスピードスケート競技規則並びに本大会要項による距離別競技とする。

(2) トラックは標準ショートトラックとする。

(3) 学校対抗競技は、全レースに次の得点を与え、その得点合計に基づき順位を決定する。

得点合計が同点の場合は、リレー競技の上位校を上位とする。

500m、1000 . . . 1位から降順に5、3、2、1、1点

m . . . 1位から降順に7、5、4、3、2、1、1点

1500m . . . 1位から降順に9、7、6、5、4、3、2、1、

3000m . . . 1点

リレー 1位から降順に13、10、8、6点

(4) 組合せ抽選は、12月23日に主催者の責任抽選として行う。

ア) 各距離ともISU規則第295条2項に従ってラウンドを編成し、エリミネーション方式によって次の

ラウンドへは各組の1位、2位、若しくは3位の者が進出する。

イ) 各距離とも、最初のラウンドの組合せ及びスタート順の抽選は、各大学から出された出場申込記載のA、Bブロック別とする。

① 各ブロックの予選ラウンドの編成は、前年度全日本距離別ランキングに基づいて、次にバジジテスト級により同一級の中で抽選して各組に配置する。

② 次のラウンドへは、各ブロック内で必要な人数が進出する。

③ 原則として準決勝まではブロックを変更しない。

(5) 各距離とも、最終順位はISU規則第295条6項及び7項に従って順位を決定する。

(6) オープン競技及びバジジテスト競技はタイムレースとする。

#### 4. 表彰

(1) 学校対抗

ア) 優勝校に、持ち回りの賜杯（男子は寛仁親王杯、女子は寛仁親王妃杯）及び賞状を、2位及び3位の大学に賞状を授与する。

イ) 各距離の1位から8位までの者に賞状を授与する。ただし、リレー競技は除く。

ウ) リレー競技の1位から3位までの大学に賞状を授与する。

(2) オープン競技の各距離の1位から6位までの者に賞状を授与する。

#### 5. 参加資格

本年度の本連盟登録者であること。この場合、参加申込時にバジジテスト級の期限が満了している者は参加

申込することができない。

(1) 学校対抗競技：(公財)日本スケート連盟バジジテスト（ショートトラック、スピードを問わない）C級以上の者

(2) オープン競技：(公財)日本スケート連盟バジジテスト（ショートトラック、スピードを問わない）D級以上の者

(3) バジジテスト競技：(公財)日本スケート連盟バジジテスト（ショートトラック、スピードを問わない）E級以下の者（無級を含む）

#### 6. 出場制限

(1) 学校対抗競技

ア) 各校とも1距離3名以内、1名2距離以内とする。ただし、リレー競技を除く。

イ) リレー競技は1校1チーム以内とし、メンバーは5名以内とする。

ウ) 補欠は各距離1名以内とし、補欠を含め2距離に参加申込した者は他の距離の補欠となることはで

きない。

(2) オープン競技及びバジジテスト競技出場者は、学校対抗競技に参加申込していない者（補欠を含む）と

し、1名2距離以内とする。

7. 距離別エントリー（提出可能な者は平成29年12月5日（火）までに大会参加申し込みを完了している者に限る。）

(1) 提出期限 平成29年12月20日（水）正午

(2) 提出先 (一社)日本学生氷上競技連盟

メールアドレス：[speed@jacsif.jp](mailto:speed@jacsif.jp)（別紙フォーム使用のこと）

## 8. その他

- (1) 本競技会中の事故等については応急処置のみとし、責任は負わない。
- (2) 参加者はスポーツ障害保険に必ず加入していること。
- (3) カットレジスタンススーツを着用していない者にあつては、ネックプロテクションを必ず装着すること。
- (4) ブレードチェックの日程は、後日本連盟ホームページに掲載する。



②スピード部門競技日程

## 第 90 回日本学生氷上競技選手権大会競技日程 スピード競技

1 月 5 日(金)

公式練習①	9:00
公式練習②	14:00
監督主将会議及び抽選	17:00

1 月 6 日(土)

公式練習	8:30
競技開始	10:00
競技終了(予定)	16:00

1 月 7 日(日)

公式練習	8:30
競技開始	10:00
競技終了(予定)	14:00
公式練習	競技終了後 30 分後開始

1 月 8 日(月)

公式練習	8:30
競技開始	10:00
競技終了(予定)	12:30

## ショートトラックスピードスケート競技

1月3日(水)

公式練習①	13:00
公式練習②	14:00
公式練習③	15:00
公式練習④	16:00
監督主将会議及び抽選	17:00

1月4日(木)

開会式	8:00
公式練習	10:30
競技開始	12:30
競技終了(予定)	18:30

1月5日(金)

公式練習	7:45
競技開始	9:30
競技終了(予定)	12:30
閉会式(予定)	13:30

## 5. フィギュア部門

### ①競技要項

#### 第90回日本学生氷上競技選手権大会 フィギュア部門要項

##### 1. 参加資格

###### (1) シングルスケーティング (男子)

- ・ Aクラス男子 (財) 日本スケート連盟バッジテスト7・8級
- ・ Bクラス男子 (財) 日本スケート連盟バッジテスト5・6級
- ・ Cクラス男子 (財) 日本スケート連盟バッジテスト3・4級

※C クラス男子は各都道府県スケート連盟テスト部長による「3級エレメンツ2課題残し証明書」の発行を受けた者。

###### (2) シングルスケーティング (女子)

- ・ 7, 8級女子 (財) 日本スケート連盟バッジテスト7・8級
- ・ 6級クラス女子 (財) 日本スケート連盟バッジテスト6級
- ・ 5級クラス女子 (財) 日本スケート連盟バッジテスト5級
- ・ 4級クラス女子 (財) 日本スケート連盟バッジテスト4級
- ・ 3級クラス女子 (財) 日本スケート連盟バッジテスト3級

※3級クラス女子は各都道府県スケート連盟テスト部長による「3級エレメンツ2課題残し証明書」の発行を受けた者。

※「3級エレメンツ2課題残し」とは、3級のバッジテストでステップ、フリーを取得し、かつエレメンツの2課題（その2課題は、任意のダブル・ジャンプ/任意のダブル・ジャンプを含むコンビネーションとする）残しである状態を指す。

###### (3) アイスダンス

- ・ 選手権クラス 該当シーズンにおいて(公財)日本スケート連盟主催のシニア選

手権大会への出場資格を有するカップル

- ・ 準選手権クラス カップルのいずれかがブロンズ以上。ただし、選手権クラス出



場資格を持つカップルは該当シーズンにおいて、(公財)日本スケート連盟のシニア選手権大会に出場していない場合のみ、準選手権クラスへの参加を認める。

※上記の級は選考競技会申し込み締め切りまでに取得のこと。

②競技日程

第90回日本学生氷上選手権大会

日時	1月5日(金)	1月6日(土)	1月7日(日)	2017年11月08日更新 日時	1月8日(月)
8:00		① 8人	① 8人	① 8人	① 8人
9:00		C男 ② 8人	A男SP 公式練習 ② 8人	A男FS 公式練習 ② 8人	A男FS 公式練習 ② 8人
10:00		① 8人	③ 8人	③ 8人	③ 8人
11:00		② 8人	④ 7人	④ 7人	④ 7人
12:00		③ 7人	⑤ 8人	⑤ 8人	⑤ 8人
13:00		④ 7人			
14:00		① 7人	① 8人	① 8人	① 8人
15:00		② 7人	② 8人	② 8人	② 8人
16:00	① 8人 C男 公式練習 ② 8人	① 4人	③ 8人	③ 8人	③ 8人
17:00	① 8人	② 5人	④ 8人	④ 8人	④ 8人
18:00	② 8人	① 7人	ID/SD ①	① 8人	① 8人
19:00	③ 7人	② 7人	② 8人	② 8人	② 8人
20:00	④ 7人	③ 7人	③ 8人	③ 8人	③ 8人
21:00	① 7人	④ 7人	④ 8人	④ 8人	④ 8人
22:00	② 7人	⑤ 7人	⑤ 8人	⑤ 8人	⑤ 8人
23:00	③ 7人	⑥ 7人	⑥ 8人	⑥ 8人	⑥ 8人
24:00	④ 7人	⑦ 7人	⑦ 8人	⑦ 8人	⑦ 8人
25:00		⑧ 7人	⑧ 8人	⑧ 8人	⑧ 8人
26:00		⑨ 7人	⑨ 8人	⑨ 8人	⑨ 8人
27:00		⑩ 7人	⑩ 8人	⑩ 8人	⑩ 8人
28:00		⑪ 7人	⑪ 8人	⑪ 8人	⑪ 8人
29:00		⑫ 7人	⑫ 8人	⑫ 8人	⑫ 8人
30:00		⑬ 7人	⑬ 8人	⑬ 8人	⑬ 8人
31:00		⑭ 7人	⑭ 8人	⑭ 8人	⑭ 8人
32:00		⑮ 7人	⑮ 8人	⑮ 8人	⑮ 8人
33:00		⑯ 7人	⑯ 8人	⑯ 8人	⑯ 8人
34:00		⑰ 7人	⑰ 8人	⑰ 8人	⑰ 8人
35:00		⑱ 7人	⑱ 8人	⑱ 8人	⑱ 8人
36:00		⑲ 7人	⑲ 8人	⑲ 8人	⑲ 8人
37:00		⑳ 7人	⑳ 8人	⑳ 8人	⑳ 8人
38:00		㉑ 7人	㉑ 8人	㉑ 8人	㉑ 8人
39:00		㉒ 7人	㉒ 8人	㉒ 8人	㉒ 8人
40:00		㉓ 7人	㉓ 8人	㉓ 8人	㉓ 8人
41:00		㉔ 7人	㉔ 8人	㉔ 8人	㉔ 8人
42:00		㉕ 7人	㉕ 8人	㉕ 8人	㉕ 8人
43:00		㉖ 7人	㉖ 8人	㉖ 8人	㉖ 8人
44:00		㉗ 7人	㉗ 8人	㉗ 8人	㉗ 8人
45:00		㉘ 7人	㉘ 8人	㉘ 8人	㉘ 8人
46:00		㉙ 7人	㉙ 8人	㉙ 8人	㉙ 8人
47:00		㉚ 7人	㉚ 8人	㉚ 8人	㉚ 8人
48:00		㉛ 7人	㉛ 8人	㉛ 8人	㉛ 8人
49:00		㉜ 7人	㉜ 8人	㉜ 8人	㉜ 8人
50:00		㉝ 7人	㉝ 8人	㉝ 8人	㉝ 8人
51:00		㉞ 7人	㉞ 8人	㉞ 8人	㉞ 8人
52:00		㉟ 7人	㉟ 8人	㉟ 8人	㉟ 8人
53:00		㊱ 7人	㊱ 8人	㊱ 8人	㊱ 8人
54:00		㊲ 7人	㊲ 8人	㊲ 8人	㊲ 8人
55:00		㊳ 7人	㊳ 8人	㊳ 8人	㊳ 8人

※タイムスケジュールは競技進行状況により、変更になる場合がありますのでご注意ください。

### ③大学別出場枠一覧

第90回日本学生水上競技選手権大会 予選通過者数

#### 男子Aクラス及び7,8級女子

	前年度上位18人中		比例配分の結果(23)		基本枠(10)		通過者数		シード校			計
	東	西	東	西	東	西	東	西	総合1位	総合2位	総合3位	
A男	8	10	10.22	12.78	5	5	15	18	関西	明治	中京	36
7,8級女子	7	11	8.94	14.06	5	5	14	19	中京	関西	早稲田	36

#### Bクラス男子及び6級女子

	前年度上位18人中		比例配分の結果(18)		基本枠(10)		通過者数		計
	東	西	東	西	東	西	東	西	
B男	8	5	11.08	6.92	5	5	16	12	28
6級女子	14	4	14.00	4.00	5	5	19	9	28

#### 5級女子

	前年度上位18人中		比例配分の結果(18)		基本枠(10)		通過者数		計
	東	西	東	西	東	西	東	西	
5級女子					5	5	7	7	14

#### Cクラス男子及び4級女子

	前年度上位18人中		比例配分の結果(18)		基本枠(10)		通過者数		計
	東	西	東	西	東	西	東	西	
C男	4	9	5.54	12.46	5	5	11	17	28
4級女子	12	6	12.00	6.00	5	5	17	11	28

#### 3級クラス女子

	前年度上位18人中		比例配分の結果(18)		基本枠(10)		通過者数		計
	東	西	東	西	東	西	東	西	
3級女子					5	5	7	7	14

## 6. アイスホッケー部門

### ①男子ファーストディビジョン競技要項

(平成 29 年 10 月 7 日)

#### 第 90 回記念大会ホッケー部門（ファーストディビジョン）競技要項

1. 参加資格 日本学生氷上競技連盟加盟校のうち、地区ごとに定められた枠数により出場権を得た各地区の代表 14 校（北海道 2、東北 2、北信越 1、関東 2、中部 1、関西 3、中四国 1、九州 2）、前大会ベスト 16 進出の 16 校、開催地連盟推薦 1 校、第 18 回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会セカンドステージ優勝校の計 32 校
2. 出場制限
  - (1) ベンチ入りの選手は、ゴールキーパー最小 1 名、最大 2 名。プレイヤー最小 10 名、最大 20 名とし、ゴールキーパー 1 名を含み総勢 11 名未満のチームは出場資格を持たない。
  - (2) 試合に際して、登録された責任者（チームを管理するスタッフ：監督、コーチ等）が不在の場合は、試合放棄と見なしその試合は没収される。ベンチ入りスタッフは最小 1 名、最大 6 名とする。スタッフとは監督・コーチとして（公財）日本アイスホッケー連盟に登録されている者とする。
  - (3) 外国籍学生の出場は 1 校につき 2 名以内とする。
  - (4) 学生ドアマンについては、本大会登録選手・マネージャー 2 名以内がベンチ入りすることができる。ベンチ入りの際には、必ずフルフェイスマスクのついたヘルメットを着用しなければならない。
3. 競技方法
  - (1) 上記 32 校によるトーナメント戦により 1 位～5 位を決定する。
  - (2) 試合は正味 20 分×3 ペリオードで行なう。インターバルは 10 分とする。  
タイムアウト（30 秒）は全試合、各チーム 1 回使用できるものとする。
  - (3) 第 3 ペリオード終了時点において同点の場合、下記の方法で勝敗を決定する。
    - ① 1 回戦より準々決勝戦においては、国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ゲーム・ウイニング・ショット」（GWS）の方式に従うが、5 名ではなく 3 名で行い勝敗を決する。ノミネートは不要でリンクサイドは片面だけを使う。なお、3 名で決着がつかない場合はタイ・ブレイク方式（サドン・ビクトリー）で行い、タイ・ブレイクへ入ったら、同じ選手が何回続けてショットしてもよい。
    - ② 準決勝戦、3 位決定戦及び決勝戦は、第 3 ペリオード終了直ちに 5 分間のスケーター 3 対 3 によるサドン・ビクトリー方式の延長戦により勝敗を決定する。延長戦のサイドは第 3 ペリオードと同じとする。延長戦でも決しない場合は、国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ゲーム・ウイニング・ショット」（GWS）により勝敗を決定する（上記①と同じ方法）。
  - (4) 練習時間は、1・2 回戦は 7 分間、準々決勝以降は 10 分間とする。
  - (5) 日本アイスホッケー連盟、主管連盟及び大会事務局の定めるローカルルール以外は、国際アイスホッケー連盟の定める国際競技規則及び同スポーツ規定による。
4. シード
  - (1) 前大会ベスト 16 進出校がシードされる。
  - (2) ベスト 4 校は、順位により定められた位置にシードされる。
  - (3) 5 位 4 校のシード位置は、昨年度大会期間中に抽選によって決定済みである。
  - (4) 前大会ベスト 16 進出校の組み合わせは、春季代表委員会において、抽選によって決定済みである。
5. 得点 ベスト 8 進出校に得点を与える。1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位（4 校）は 2・5 点ずつとする。
6. 表彰
  - (1) 優勝校には優勝杯を授与し、1～3 位に賞状を授与する。
  - (2) 全参加者のうち、1 名に最優秀選手【MVP】賞を授与する。
  - (3) ベスト 4 進出校のうち準々決勝戦からのポイントを計算し、【得点王】賞及び【アシスト王】賞を授与する。
  - (4) ポジションごとに優秀選手を選出し、【ベスト 6】賞を授与する。
7. その他 本大会において確定した 5 位 4 校については、大会期間中に抽選によって次年度大会のシード位置を決定する（詳細については、監督主将会議で発表する）。



## ②男子セカンドディビジョン

(平成 29 年 10 月 7 日)

### 第 90 回記念大会ホッケー部門（セカンドディビジョン）競技要項

1. 参加資格 日本学生氷上競技連盟加盟校のうち、各地区の最終予選において出場権を得ることのできなかつたチームの中で、予選会において最も上位の成績を収めたチーム 8 校（北海道 1、東北 1、北信越 1、関東 1、中部 1、関西 1、四国 1、九州 1）
2. 出場制限
  - (1) ベンチ入りする選手は、ゴールキーパー最小 1 名、最大 2 名。プレイヤー最小 10 名、最大 20 名とし、ゴールキーパー 1 名を含み総勢 11 名未満のチームは出場資格を持たない。
  - (2) 試合に際して、登録された責任者（チームを管理するスタッフ：監督、コーチ等）が不在の場合は、試合放棄と見なしその試合は没収される。ベンチ入りスタッフは最小 1 名、最大 6 名とする。スタッフとは監督・コーチとして(公財)日本アイスホッケー連盟に登録されている者とする。
  - (3) 外国籍学生の出場は 1 校につき 2 名以内とする。
  - (4) 学生ドアマンについては、本大会登録選手・マネージャーが 2 名以内でベンチ入りすることができる。ベンチ入りの際には必ずフルフェイスマスクのついたヘルメットを着用しなければならない。
3. 競技方法
  - (1) 上記 8 校によるトーナメント戦により 1 位～3 位を決定する。
  - (2) 試合は正味 20 分×3 ピリオドで行なう。インターバルは、10 分とする。  
タイムアウト（30 秒）は全試合、各チーム 1 回使用できるものとする。
  - (3) 第 3 ピリオド終了時点において同点の場合、国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ゲーム・ウイニング・ショット」(GWS) の方式に従うが、5 名ではなく 3 名で行い勝敗を決定する。ノミネートは不要でリンクサイドは片面だけを使う。なお、3 名で決着がつかない場合はタイ・ブレイク方式（サドン・ビクトリー）で行い、タイ・ブレイクへ入ったら、同じ選手が何回続けてショットしても良い。
  - (4) 練習時間は、1、2 回戦は 7 分間、決勝戦は 10 分間。
  - (5) 日本アイスホッケー連盟、主管連盟及び大会事務局の定めるローカルルール以外は、国際アイスホッケー連盟の定める国際競技規則及び同スポーツ規定による。
4. 秋季代表者会議において各地区のトーナメントの位置を抽選で決定する
5. 1～3 位に賞状を授与する。  
優勝したチームの所属する地区には、次年度の参加チーム 1 枠を増加す

### ③女子オープン

(平成 29 年 10 月 7 日)

#### 第 90 回記念大会ホッケー部門（女子）競技要項

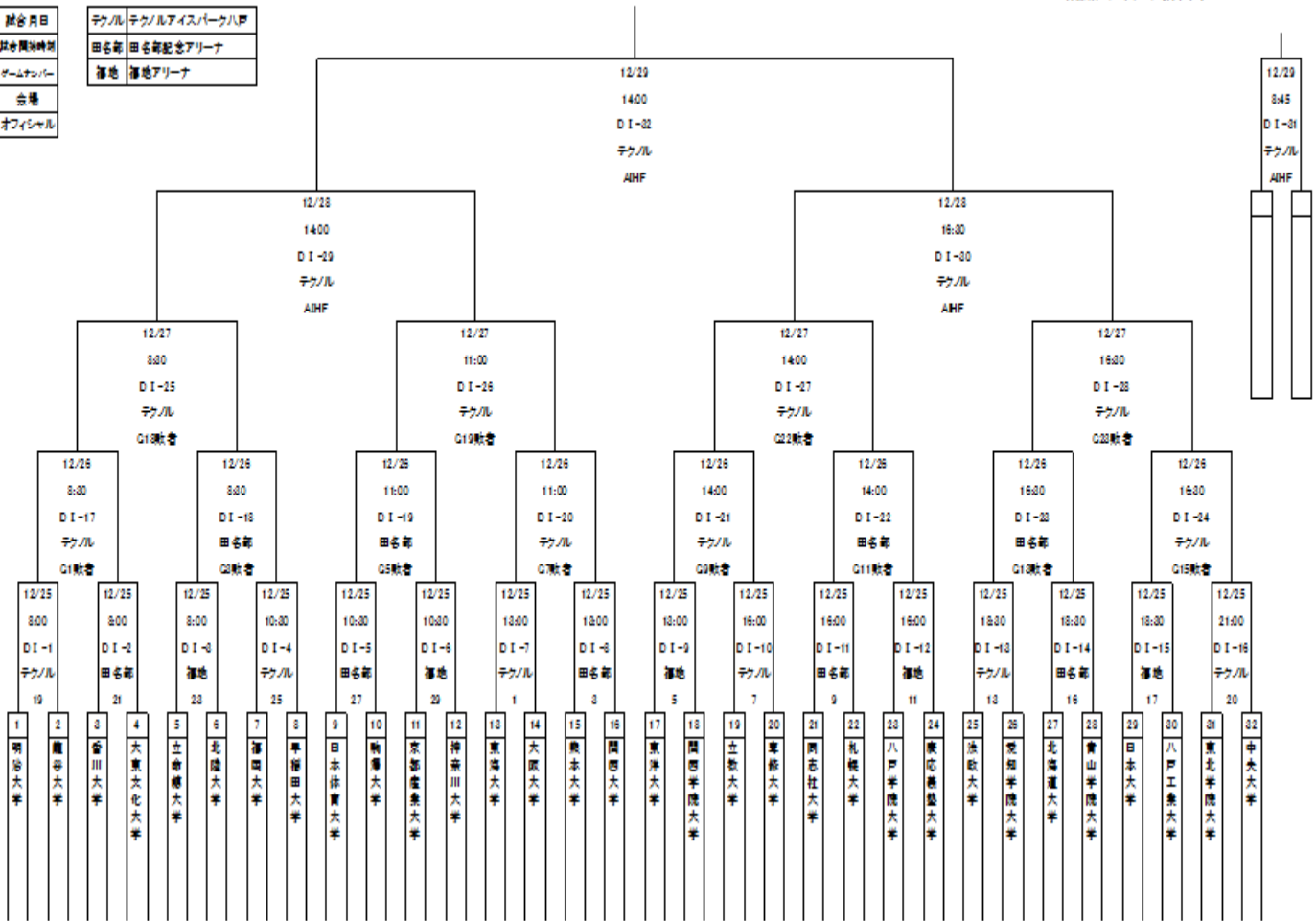
1. 参 加 資 格 日本学生氷上競技連盟加盟校 5 校のうち、出場の意思を表明した 3 校（帯広畜産大学、都留文科大学、日本体育大学）。
2. 出 場 制 限
  - (1) ベンチ入りの選手は、ゴールキーパー最小 1 名、最大 2 名。プレイヤー最小 10 名、最大 20 名とし、ゴールキーパー 1 名を含み総勢 11 名未満のチームは出場資格を持たない。
  - (2) 試合に際して、登録された責任者（チームを管理するスタッフ：監督、コーチ等）が不在の場合は、試合放棄と見なしその試合は没収される。ベンチ入りスタッフは最小 1 名、最大 6 名とする。スタッフとは（公財）日本アイスホッケー連盟にスタッフとして登録され、当連盟に部長、副部長、監督、コーチなどとして登録されている者とする。
  - (3) 外国籍学生の出場は 1 校につき 2 名以内とする。
  - (4) 学生ドアマンについては、本大会登録選手・マネージャー 2 名以内がベンチ入りすることができる。ベンチ入りの際には、必ずフルフェイスマスクのついたヘルメットを着用しなければならない。
3. 競 技 方 法
  - (1) 上記 3 校によるリーグ戦により 1 位～3 位を決定する。
  - (2) 試合は正味 20 分×3 ペリオドで行なう。インターバルは 10 分とする。  
タイムアウト（30 秒）は全試合、各チーム 1 回使用できるものとする。
  - (3) 第 3 ペリオド終了時点において同点の場合は引分けとする。
  - (4) 練習時間は、7 分間とする。
  - (5) 日本アイスホッケー連盟、主管連盟及び大会事務局の定めるローカルルール以外は、国際アイスホッケー連盟の定める国際競技規則及び同スポーツ規定による。
4. 順位の決定方法 リーグ戦において勝利したチームに勝点 2 を、引分けの場合には両チームに勝ち点 1 を与え、総勝点数によって順位を決定する。なお、総勝点数が同じ場合には、別に定める方法によって順位を決定する。
5. 大学対抗得点 オープン競技とし、大学対抗の得点は付与しない。
6. 表 彰 1～3 位に賞状を授与する。
7. 大会参加料 無料。なお、各チームに対して遠征助成金を支給する。
8. そ の 他 今後大学対抗得点を付与する正式種目となった場合でも、大会の記録は第 90 回記念大会から通算するものとする。

# ④ 競技日程

## 第90回日本学生氷上競技選手権大会 男子ファーストディビジョン組合せ

平成29年12月25日～12月29日  
 青森県八戸市、三戸郡崎新町

試合月日	テクニル	テクニルアイス、パークハブ
試合開始時刻	田名部	田名部記念アリーナ
ゲームナンバー	渾地	渾地アリーナ
会場		
オフィシャル		

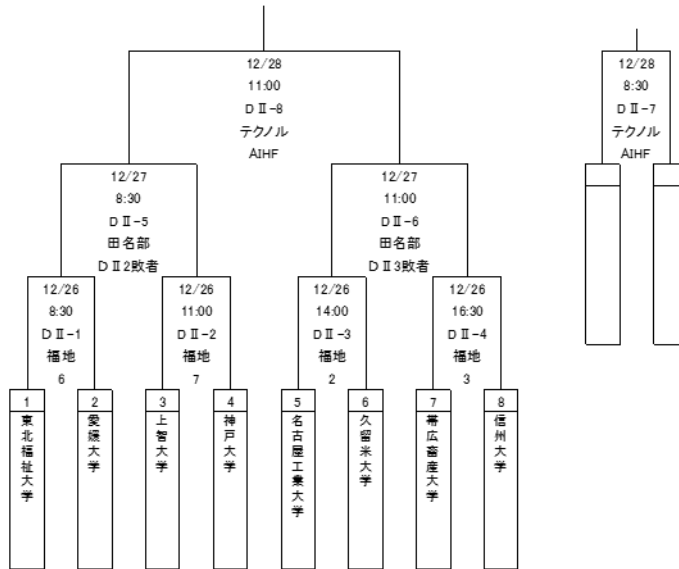


# 第90回日本学生氷上競技選手権大会 男子セカンドディビジョン組合せ

試合月日
試合開始時刻
ゲームナンバー
会場
オフィシャル

テクノル	テクノルアイスパーク八戸
田名部	田名部記念アリーナ
福地	福地アリーナ

平成29年12月26日～12月28日  
青森県八戸市、三戸郡南部町



第90回日本学生氷上競技選手権大会 女子対戦表(オープン競技)

試合月日
試合開始時刻
ゲームナンバー
会場
オフィシャル

テクノル	テクノルアイスパーク八戸
田名部	田名部記念アリーナ
福地	福地アリーナ

平成29年12月27日～12月29日  
青森県八戸市、三戸郡南部町

	日本体育大学	都留文科大学	常広畜産大学	勝ち	引き分け	負け	勝ち点	得点	失点	得失点差
日本体育大学		1P - 2P - 3P - # -	1P - 2P - 3P - # -							
都留文科大学	12月27日 19:00 1 テクノル 常広畜産大学		1P - 2P - 3P - # -							
常広畜産大学	12月29日 11:30 3 テクノル 都留文科大学	12月28日 19:00 2 テクノル 日本体育大学								

※勝利したチームに勝ち点2、引分けの場合は両チームに1を与え、総勝点数によって順位を決定する。







## 7. 瑠子女王殿下御観戦について

前回苫小牧大会に引き続き、90回八戸大会アイスホッケー競技に於いて、瑠子女王殿下に大会をご観戦いただけることになりました。取材に関する詳細につきましては、別紙「瑠子女王殿下のお成りについて」(HPでの公開はいたしません)にてご確認ください。なお、大会(試合)の取材とは別の対応をさせていただきますので取材をされる場合には、当連盟広報担当(info@jacsif.jp)までご連絡ください。

## 8. 取材(大会)について

当連盟ホームページ(<http://jacsif.jp>)にて取材関係の書類を掲載しております。各社ファイルをダウンロードしていただき、下記メールアドレスに送付してください。後日、ファイルを返却致しますので大会当日までに返却されたファイルを印刷の上、各会場に設置してある当連盟事務局までお越しください。お越しいただいた際に、ビブスをお渡しします。取材・撮影時は必ず着用してください。また各部門ビブスの色が異なるため、会場を移動する場合、事務局まで**必ずビブスの返却**をお願いします。お持ち帰らないようご注意ください。

### 《大会当日取材申請をする場合》

規則上大会3日前までに取材申請をしていただきますが、各会場に当連盟事務局を設置してありますので、取材許可書の記入をしていただきます。身分証明書や名刺等をご提示していただくことがあります。ご本人の確認が取れ次第ビブスをお渡し致します。記入していただいた申請書の原本はお持ちしていただき、各会場にてご提示ください。

## 取材許可書 送付先メールアドレス

info@jacsif.jp

### ※取材時の注意事項

取材申込書ないしは取材許可証に記載されている注意事項、及び各会場で特別に定めた「取材の際のお願い」を必ずお守りください。お守りいただけない場合には、取材の中止、会場からの退去をお願いする場合があります

## 9. 各種問い合わせについて

### 【大会関係連絡先】

事務連絡先

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町2-5

E-mail : [info@jacsif.jp](mailto:info@jacsif.jp)

(一社) 日本学生氷上競技連盟

- ・スピード部門 [speed@jacsif.jp](mailto:speed@jacsif.jp)
- ・フィギュア部門 [figure@jacsif.jp](mailto:figure@jacsif.jp)
- ・ホッケー部門 [hockey@jacsif.jp](mailto:hockey@jacsif.jp)

【大会期間中（12月25日から29日

1月4日から8日まで）】

ご不明な点がありましたら、下記連絡先までお願いします。

理事長専用携帯電話	(TEL) 080-7934-1876
スピード委員長	(TEL) 070-3328-1424
フィギュア委員長	(TEL) 070-3316-3058
ホッケー委員長	(TEL) 070-3325-7505

◎お問い合わせは

[info@jacsif.jp](mailto:info@jacsif.jp) まで

